# 令和７年第４回江差町議会臨時会資料

資料１：“エエ町江差”子育て応援商品券事業の概要【議案第１号関係】　…Ｐ　1
資料２：公衆浴場燃料費高騰対策支援事業の概要【議案第１号関係】　…Ｐ　3
資料３：豊かな前浜づくりプロジェクト（略称：ハマプロ）事業の概要
【議案第１号関係】　…Ｐ　5
資料４：江差町地方卸売市場移転新築工事実施設計委託事業の概要
【議案第１号・第２号関係】　…Ｐ　7

資料1

○重点支援地方創生臨時交付金事業（令和7年度）

# “エエ町江差”子育て応援商品券事業の概要

＜所管課：町民福祉課福祉子育て係＞

## ◇事業の目的

お米をはじめとする食料費やエネルギーなどの物価高騰の影響を受けている子育て世帯の支援を図ることを目的に、町内で利用できる商品券を配布する。

## ◇配布対象者

令和7（西暦2025）年6月30日から令和7（西暦2025）12月31日までの間に江差町に住民登録があり、かつ、平成19（西暦2007）年４月２日以降に生まれたお子様

## ◇配布する商品券

江差町が発行する「“エエ町江差”子育て応援商品券」を対象となるお子様１人あたり１０，０００円分（1,000円券×10枚）を配布する。

## ◇配布の方法

ゆうパック等の確実な方法にて、世帯主に対し対象となるお子様分の商品券を発送する。なお、不在者や施設入所者等については、定額給付金の例を参考に対応する。

## ◇利用期間

発行日（８月上旬）から令和8年2月28日までとする。

## ◇事業の実施方法

取扱店の募集や換金等の事務を江差商工会へ委託する。

## ◇事業予算

事業費　７，２９８千円（国費6,546千円、一般財源752千円）

単位：千円

| 区分 | | 金額 | 内訳 | |
|---|---|---|---|---|
| 10 | 需用費 | 279 | 消耗品費（封筒代） | 4 |
| | | | 印刷製本費（商品券印刷） | 275 |
| 11 | 役務費 | 176 | 通信運搬費（商品券発送・ゆうパック等） | 176 |
| 12 | 委託料 | 6,843 | 商品券換金代 | 5,840 |
| | | | 事務用品購入代 | 100 |
| | | | ステッカー等印刷代 | 571 |
| | | | 振込手数料 | 40 |
| | | | 事務費（額面額の５％以内） | 292 |
| 計 | | 7,298 | | |

資料2

# 公衆浴場燃料費高騰対策支援事業の概要

【補正予算額】200 千円　※全額重点支援地方交付金

〈所管課：総務課〉

## 事業の目的

物価統制令に基づき、知事による入浴料金の統制を受けている一般公衆浴場に対し、重油代等について、事業者の負担軽減のため、高騰分見合いに対して支援を実施する。

## 対象者

松の湯（江差町字本町 104 番地）

※地域住民の日常生活において保健衛生上必要なものとして利用される施設で、物価統制令（昭和 21 年 3 月勅令第 118 号）によって入浴料金が統制されている「銭湯」を経営しているもの

## 支援金額

２００千円　※全額重点支援地方交付金

※重油の令和６年度からの上昇分相当

## 事業年度

令和 7 年度

（企業版ふるさと納税活用事業）

# 豊かな前浜づくりプロジェクト（略称：ハマプロ）～つくり・育てる漁業を核とした地域経済の好循環の実現を目指して～

＜所管課：産業振興課＞

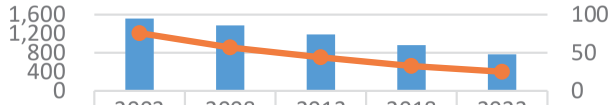
## 趣　旨

日本海地域における漁業生産の急激な減少、他地域と比べて低い栽培漁業の割合、漁業者の減少・高齢化といった現状を踏まえ、回遊性魚種の資源変動に左右されない前浜づくりが課題である。

本町の漁業スタイルに“ハマル”栽培漁業を推進し、漁業所得の向上はもとより、地産地消・外商の取組を通じた地域経済の好循環の実現を目指すものである。

あわせて、藻場造成に伴うブルーカーボンの取組により、二酸化炭素排出量実質ゼロとする「江差町ゼロカーボンシティ宣言」に寄与する。

漁業経営体数、漁業生産高




| | 2003年 | 2008年 | 2013年 | 2018年 | 2023年 |
|---|---|---|---|---|---|
| 漁業経営体数 | 95 | 86 | 74 | 60 | 48 |
| 漁獲生産高（百万円） | 1,212 | 911 | 704 | 522 | 400 |

（出典：漁業センサス・北海道水産現勢）

## 本町の栽培漁業の現状と発展可能性

**地先種（ｳﾆ・ﾅﾏｺなど）**

・地先の種苗放流は、ウニに加え、単価の高いナマコへの期待が高まり種苗の生産、放流事業を強化。
・江差産ナマコは、肉厚感、イボ立ちの良さなどから全国でもトップクラスの評価。
・2020年4月、檜山海参（hiyama haishen）として特定農林水産物等（日本地理的表示G1）として登録されブランド化。

**広域種（ﾋﾗﾒ・ｻｹ・ﾆｼﾝなど）**

・JFひやまと沿岸自治体が一体となり稚魚の放流事業を展開するも飛躍的な水揚げには至っていないのが現状。
・放流事業における資源造成効果などの検証が必要。

**養殖業（ﾏｽ・ｻｹなど）**

・厳しい自然環境のなか、ホタテ貝やカキ等の二枚貝類やコンブなどの養殖に適した静隠域が少ない。
・2022年より「江さしっ子繁虎」（トラウトサーモン）の海面養殖を開始。
・安定した生産を見込める養殖業に対する評価や関心が高まっており、新たな漁業モデルとしての取組実施。

## 江差町まち・ひと・しごと創生寄付金（企業版ふるさと納税）を活用した事業の展開

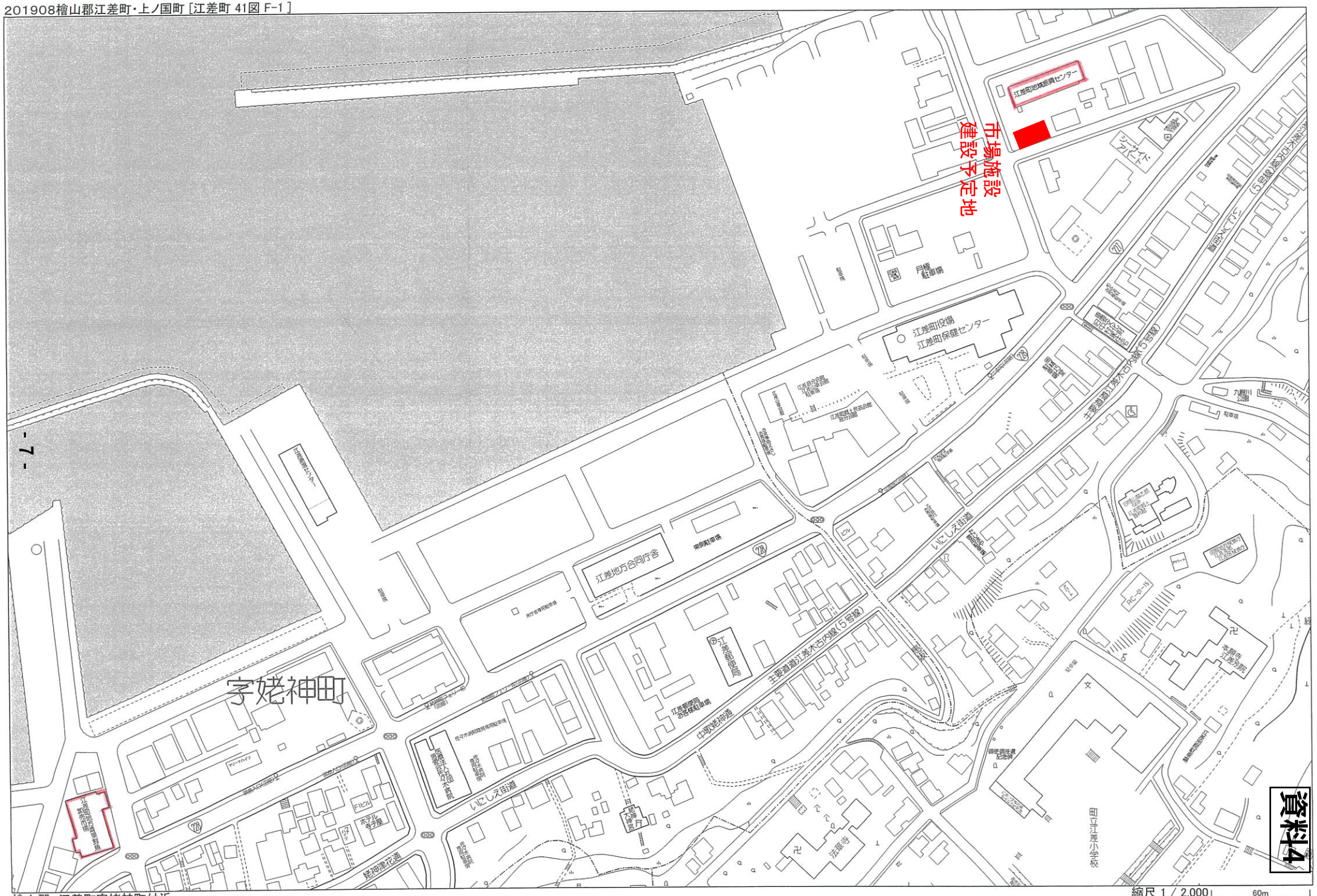
□　ナマコの資源増大に向けた取組の推進
□　藻場造成に伴うブルーカーボンの取組
＜補正予算額：3,000千円＞（企業版ふるさと納税充当）

＜事業概要＞
◇実施主体：ひやま漁業協同組合（江差支所）
◇事業費　：4,000千円（うち1,000千円は自己資金）
◇事業内容：
・ナマコ増殖礁の設置（ナマコ団地の造成：50基）
・種苗放流時用船料・潜水調査料

＜SDGSとの関連性＞

資料3

201908檜山郡江差町・上ノ国町［江差町 41図 F-1］




檜山郡　江差町字姥神町付近

縮尺 1 / 2,000　60m

# 旧市場施設解体撤去・新市場施設への移転スケジュール表

| | 令和７年度 | | | | | | | | | | | 令和８年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | R7.5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | １０月 | １１月 | １２月 | １月 | ２月 | ３月 | R8.4月 |
| 檜山卸共同組合 | 卸組合との移転先協議 | 移転先決定 | | | | | | | | | 引っ越し作業<br>移転完了 | |
| 解体・移転 | | | 実施設計業務委託<br>解体工事設計（建設水道課） | | | 建築確認申請 | 建設工事発注・工事実施 | | 公設市場認定申請（道） | 解体工事発注・工事実施 | | |
| 議会提案 | | 議会全員協議会（概要説明）<br>臨時会開催（補正予算）（実施設計業務委託費） | | | 定例会開催（補正予算）（建設費・解体費） | | | | | | 定例会 条例改正 | |
| 開発局との調整 | | 補償契約締結（予定） | | | | | | | | | | |

※補償額は、旧市場施設の解体撤去工事完了後、開発局による現地確認が行われた後に国から支払われることになります。